

# 「危機的状況にある若者をどうサポートするか ～尊厳を持って生きるための支援プログラム」

ワークショップ  
開催のお知らせ

無料

主として

23歳以下（子どもから、青年）

の若者たちが、希死念慮を抱き危機的状況にある場合に、私たちはどのように関わることができるか、理論を学び、演習、共有（シェア）、寸劇などを通し実際に身につけて行く体験型の研修です。たとえ善意や熱意を持っていても、支援に関わろうとする者が、危機的状況にある人の心身の状態を知ること、想像することは容易くはありません。講師自らの体験を通して得た知見・技術を、座学ではなく、支援に関わろうとする時に実際に役立つように具体性を持って学びたいと思います。



定員  
25名

2015年  
10月6日  
火

10月13日  
火

時間 両日 13:30～17:30

10月6日 「人が自殺を考える時の環境、心理状態を知る」

- ▼コミュニケーションの7つのレベル
- ▼Comfort 痛みを和らげ、自信を持たせ、勇気づける
- ▼カウンセリングの技法ウィリアム・グラッサー博士のコントロール理論、現実療法を活用する
- ▼支援者のサポート

10月13日 「若者の自殺予防のために」

- ▼どう悩みを捉え SOS を出したらいいか？
- ▼SOSを出している友人をどうサポートしたらよいか
- ▼生命とは何か？
- ▼生きるのが辛くなった時（寸劇で学ぶ）
- ▼友だちとは何だろう？
- ▼阪中順子先生の「きょうしつ」 聞く、寄り添う、受けとめる、信頼出来る人を見つける、繋ぐ
- ▼ヘルプラインを伝える（チャイルドライン等）
- ▼エンパワーメント
- ▼クロージング

講師 うどにし つとむ  
鴉戸西 努  
(牧師・カウンセラー)

対象 危機的状況にある若者を支援する機関とそのスタッフ、これから支えようとする人

会場 飯田橋レインボービル会議室  
(裏面地図あり)

主催・申込 NPO法人ぷしけ

ワークショップ 「危機的状況にある若者をどうサポートするか  
～尊厳を持って生きるための支援プログラム」

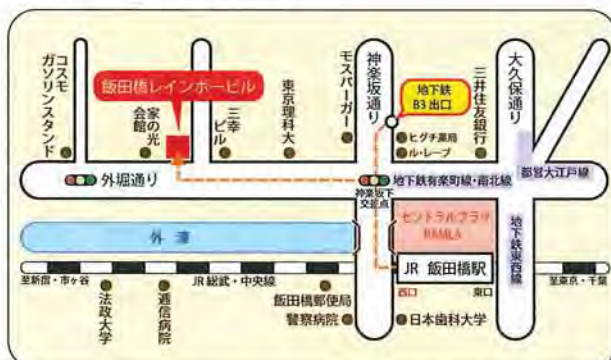
..... 参加申込書 .....

参加を申し込まれる 項目に○をつけてください	両日（10月6日および13日）
	第1日目（10月6日）のみ
	第2日目（10月13日）のみ
お名前	ふりがな
ご所属	
ご連絡先	電話番号（昼間連絡のとりやすいもの）
メールアドレス	

●下記宛てにメールでお申し込みください。  
info@psyche-tsudoi.org

〒191-062 東京都日野市多摩平 3-5-25 NPO法人愛隣舎内  
URL <http://psyche-tsudoi.org> E-mail info@psyche-tsdoi.org  
問合せ電話番号：090-4096-7198（12時～17時）

▼飯田橋レインボービル



JR 飯田橋駅西口徒歩 5分  
地下鉄有楽町線・東西線・南北線 飯田橋駅 B3 出口徒歩 5分



大切な人を亡くした子どもと  
その家族のつどい  
～開催のしおり～



NPO 法人グリーフサポートリンク  
＜全国自死遺族総合支援センター＞





死別の悲しみに寄り添う  
～自死遺族のつどいのすすめ方



NPO 法人グリーフサポートリンク  
〈全国自死遺族総合支援センター〉